

2012 年冬 TC 技術検定 2 級使用説明制作実務 [MP] 実技試験の出題意図

今回で 3 回目となり、試験の問題形式にある程度のパターンができつつあり、各課題の出題意図や解答内容は明確であった。問題文にたくさんの説明や条件があり、とくに既成概念にとらわれずに正答を得るには読解力と緻密さが必要とされた。共通して、常用漢字・送り仮名・ひらがなと漢字の使い分け、カタカナ表記は、「日本語スタイルガイド」に従うことが指示されている。

【課題 1】

エアコンのある機能の使用説明が題材。基本フォーマットを作成するために構成要素を洗い出し、執筆ルールに基づいたサンプル原稿の修正を指摘し、修正する問題。ただし、解答欄の行数が指摘する箇所の個数より多めに設定されているので、いくつ見つければよいかポイントである。しかし、この形式の問題はよく出題されるので、普段の業務で慣れている執筆ルールに捉われず、問題の条件に従えば、すべての指摘が導ける。

【課題 2】

電子体重計のトラブルシューティングが題材。元原稿から、表を作成する問題。指定された列数に分け、表頭（項目名）が書けること、元原稿からトラブルの種類が分類できること、各文章からトラブル・原因・対処方法が切り分けられることがポイントである。一つのトラブルに複数の原因がある場合の切り分けなどができれば完成できる。

【課題 3】

デジタルカメラの印刷媒体を PDF で準備し印刷する工程が題材。データから背幅の計算や表 1~4 の面付け、ツールとデータチェックを関係づける問題。ツールの詳細がわからなくても、背幅の計算や面付けなどの基礎は解答できる。

【課題 4】

ソフトウェアのインストール手順が題材。3 つの画面の遷移と説明・インストール条件から、特定の機能をインストールする手順を記述する問題。インストール手順を既製概念にとらわれずに理解できるかが 1 つ目のポイントである。手順の始めと終わりの番号が決まっているので、その書き方（文体、表記、句読点、記号など）に合わせて間を埋められるかが 2 つ目のポイントである。書き方の観点については、条件に明記されているので、インストール条件から、正しいインストール手順を導きだせれば解答できる。

【課題 5】

電子レンジのある機能に関する操作手順が題材。電子校正を前提とした修正指示を入れる問題。過去にも同じパターンが出題されているが、今回は、ファイルを添付する指示など機能が増えていたのがポイントである。指示する枠数が決まっているので、すべて見つけられる。